

2025年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年1月10日

上場会社名 株式会社チームスピリット 上場取引所 東
 コード番号 4397 URL <https://corp.teamspirit.com/ja-jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 道下 和良
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 高橋 亮 TEL 03-4577-7510
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有

（百万円未満切捨て）

1. 2025年8月期第1四半期の連結業績（2024年9月1日～2024年11月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期第1四半期	1,147	10.0	51	—	51	—	37	—
2024年8月期第1四半期	1,043	17.0	△48	—	△49	—	△35	—

（注）包括利益 2025年8月期第1四半期 38百万円（—%） 2024年8月期第1四半期 △33百万円（—%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年8月期第1四半期	2.30	2.30
2024年8月期第1四半期	△2.14	—

（注）2024年8月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
2025年8月期第1四半期	3,873		1,267		32.7
2024年8月期	3,692		1,229		33.3

（参考）自己資本 2025年8月期第1四半期 1,267百万円 2024年8月期 1,229百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年8月期	—				
2025年8月期（予想）		0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年8月期の連結業績予想（2024年9月1日～2025年8月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	13.1	150	—	150	—	105	—	6.39

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年8月期1Q	16,451,600株	2024年8月期	16,451,600株
② 期末自己株式数	2025年8月期1Q	14,915株	2024年8月期	8,915株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年8月期1Q	16,437,352株	2024年8月期1Q	16,402,818株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「すべての人を、創造する人に。」のミッションのもと、勤怠管理、工数管理、経費精算、電子稟議等の社内業務システムのクラウドサービス「チームスピリット」(注1)等及びAI議事録ソリューション「Synclog」等を提供しております。

当社グループが提供するサービス領域における短期的な事業環境といたしましては、フルリモートワークやハイブリッドワーク等の多様な働き方への対応が求められるようになったことで、高度な「勤怠管理」への需要は継続的に高い関心を集めております。また、最近では、労働時間の正確な把握だけでなく、仕事の見える化によるチームの活性化や非対面でのマネジメントの最適化を可能にする「工数管理」への需要も高まっています。

中長期的な事業環境といたしましては、人的資本経営に対する関心の高まりを背景に、多様で生産性の高い働き方の実現や、従業員エンゲージメントの向上に注力する企業が増加することが予想されます。また、特にエンタープライズ企業(注2)では、2000年頃に一斉導入されたERP並びに、それに付随したデータのエントリー機能を担う「勤怠管理システム」や「経費精算システム」といったERPのフロントウェアシステムのリプレース需要が高まっています。従来、エンタープライズ企業では、これらのシステムは各社独自の仕様で構築されるケースが一般的でしたが、昨今は更新投資やシステム保守費をかけることなく最先端のサービスを利用することができるSaaS(注3)への関心が高まっています。

このような事業環境の下で、当社グループは中期戦略として①エンタープライズセグメントでの成長加速、②ミッド・スモールセグメントでの成長維持、③新規領域の創出、の3点を基本戦略として取り組んでおります。また、2025年8月期においても、ARR成長を最優先としながらも、収益性の改善に向けて経営効率を高めるための施策に注力しております。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりです。

ライセンス受注状況に関して、累計の契約ライセンス数は555,111ライセンス(前年同期比16.8%増)、契約社数は2,000社を突破し2,016社となりましたが、ARR(注4)は、期初計画において織り込んでいた解約削減の増加に対して、新規追加が伸び悩んだ結果、3,875百万円(同12.0%増)となり、その増加率は低調な結果となりました。

当第1四半期連結累計期間における売上高の合計は1,147百万円(同10.0%増)となりました。売上高の内訳として、ライセンス売上高は957百万円(同12.1%増)、プロフェッショナルサービス売上高は189百万円(同0.7%増)となりました。営業利益は、採用の平準化及びリファーマル採用の増加施策による効率化、費用対効果の見直しによる広告宣伝費の抑制等により51百万円(前年同四半期は営業損失48百万円)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、37百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失35百万円)となりました。

なお、当社グループはSaaS事業の単一事業であるため、事業セグメント別の記載を省略しております。

(注1) チームスピリット:大企業向けの「TeamSpirit EX」及び、幅広い企業規模で利用可能な「TeamSpirit」の2つの製品で構成。

(注2) 企業規模毎の定義は以下のとおり。

名称	定義
エンタープライズ企業	従業員が1,000名以上の企業
ミッド企業	従業員が200~999名の企業
スモール企業	従業員が199名以下の企業

(注3) SaaS:Software as a Serviceの略称で、サービスとしてのソフトウェアを指す。クラウドサーバーにあるソフトウェアを、インターネットを経由して利用できるサービス。

(注4) ARR:Annual Recurring Revenueの略で、集計基準日時点の「チームスピリット」(関連製品を含む)のライセンス収入から得られる月間収益の合計を12倍したものの。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は3,873百万円となり、前連結会計年度末から180百万円増加しました。

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は3,307百万円となり、前連結会計年度末から183百万円増加しました。これは主に、現金及び預金の増加によるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は566百万円となり、前連結会計年度末から3百万円減少しました。これは主に、繰延税金資産の減少によるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は2,606百万円となり、前連結会計年度末から142百万円増加しました。これは主に、繰延収益の増加によるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債はありません。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は1,267百万円となり、前連結会計年度末から38百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことによる利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年8月期の連結業績予想については、2024年10月11日に公表した内容から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,543,387	2,730,127
売掛金及び契約資産	46,698	53,337
前渡金	359,734	376,952
その他	174,666	147,162
貸倒引当金	△972	△494
流動資産合計	3,123,514	3,307,086
固定資産		
有形固定資産	11,364	10,706
投資その他の資産		
繰延税金資産	502,627	500,422
その他	55,465	55,191
投資その他の資産合計	558,093	555,613
固定資産合計	569,458	566,320
資産合計	3,692,973	3,873,406
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,075	9,062
未払費用	210,321	276,850
未払法人税等	18,803	19,259
繰延収益	1,764,085	2,036,966
賞与引当金	64,170	—
事業再編費用引当金	111,525	14,558
その他	285,952	249,635
流動負債合計	2,463,933	2,606,332
負債合計	2,463,933	2,606,332
純資産の部		
株主資本		
資本金	840,824	840,824
資本剰余金	830,824	830,824
利益剰余金	△461,214	△423,410
自己株式	△509	△509
株主資本合計	1,209,925	1,247,729
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	19,113	19,345
その他の包括利益累計額合計	19,113	19,345
純資産合計	1,229,039	1,267,074
負債純資産合計	3,692,973	3,873,406

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)
売上高	1,043,117	1,147,514
売上原価	653,782	711,271
売上総利益	389,334	436,242
販売費及び一般管理費	437,648	384,291
営業利益又は営業損失(△)	△48,313	51,950
営業外収益		
補助金収入	112	—
その他	42	661
営業外収益合計	154	661
営業外費用		
為替差損	1,070	812
その他	2	78
営業外費用合計	1,072	890
経常利益又は経常損失(△)	△49,231	51,720
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△49,231	51,720
法人税、住民税及び事業税	1,334	11,711
法人税等調整額	△15,439	2,205
法人税等合計	△14,104	13,917
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△35,127	37,803
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	△35,127	37,803

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△35,127	37,803
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,581	231
その他の包括利益合計	1,581	231
四半期包括利益	△33,545	38,035
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△33,545	38,035

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年9月1日至2023年11月30日)

当社グループは、SaaS事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2024年9月1日至2024年11月30日)

当社グループは、SaaS事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年9月1日 至2023年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年9月1日 至2024年11月30日)
減価償却費	1,086千円	657千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。